

第1 平成25年度当初予算の状況

1 予算のあらまし

(1) 財政環境と予算編成方針

国の平成25年度予算は、「平成25年度予算編成の基本方針」（平成25年1月24日閣議決定）の①緊急経済対策との一体的な編成、②経済再生の実現に向けた効果的・効率的な予算編成、③財政に対する信認の確保を基本的な考え方とし編成されました。また、①復興・防災対策、②成長による富の創出、③暮らしの安心・地域活性化の3分野に重点化するとの方針に基づいて、日本経済再生に向けた取組に重点的な配分を行うとしています。

この結果、一般会計予算の規模は、92兆6,115億円（前年度比2兆2,776億円、2.5%増）となっています。

また、平成25年度の地方財政への対応においては、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が一定程度増加する一方で、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移することなどにより、経費全般について徹底した節減公理化に努めたものの、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれています。社会保障関係費の自然増や地域の活性化等の緊急課題に対応する財源を含め、地方の安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額について、平成24年度地方財政計画と同水準を確保することを基本として地方財政対策が講じられました。

この結果、地方財政計画（通常収支分）の規模は、81兆9,154億円（前年度比507億円、0.1%増）、一般財源の総額は59兆7,526億円（前年度比1,285億円、0.2%増）となっています。

東日本大震災分についても、復旧・復興にあたって、被災団体が全力で取り組めるようにするとともに、被災団体以外の地方公共団体の負担に影響を及ぼすことがないように、復旧・復興事業及び全国防災事業について、通常収支とは別枠で整理し、所要の事業費及び財源が確保されました。

本県の平成25年度予算については、「みえ県民力ビジョン・行動計画」の2年目として、行動計画に掲げた目標の実現に向けた取組を着実に推進することを基本方針とし、「平成25年度三重県経営方針」をふまえて予算編成を行いました。また、限られた財源を柔軟に無駄なく配分するため、新たな予算編成プロセスのもと、施策別財源配分制度の廃止・知事と部局長による協議の充実等を通じて、注力すべきものには注力する一方で、厳しい優先度判断による事業の選択と集中を図りました。